

【企業紹介】人を活かす経営 ～経営指針～ [(有)新建設技術設計 郡山地区]

人を活かす経営 ～経営指針～ (有)新建築技術設計 代表取締役 折笠 正和さん

<同友ふくしま 2012年12月号に掲載>

自分は何のために経営しているのか？2年かけた経営指針 誘われるままに参加した1年目の経営指針を創る会。「正直、社員3人しかいない自分には必要ない事だと思っていました」と話す折笠さん。でも、「あなたは何のために経営しているの？」と問われて、即答できず、自分の経営の核になるものがなかったことに気付かされました。1年目は無我夢中で学びましたがまとまらず、2年目になると自分の言葉でスローガンを作れて、仲間の発表にも、学ぶ事が出来きました。その後の例会等でも、ほかの人の考え方がわかるようになり、切磋琢磨する気持ちも出て、いい意味でのライバル意識も生まれ、よし自分も頑張ろうという気持ちが出てきました。変化した社員さんへの想い 経営指針の勉強をして、社員との関係が自分の中で変化しました。今までは、技術屋としての「師匠と弟子」という感覚、スタンスだったのですが、今では「どうやったら社員の成長に繋がるか...、伸ばしていけるのか...共に育っていこう！」という風に、社員を尊重するように変わってきたそうです。11月末には、今回作った経営指針を社員さんに向けて発表する場も準備しています。「ちょっと恥ずかしいんだけど...」と照れながらも、学んだことをきちんと会社のもの、社員のもの、自分のものにしていっしょのを感じました。学んだ方が勝ち 経営指針の勉強は、規模の大きさとか、社員が何人いるかなどには関係なく、学んだほうが勝ちと言うか、学べば必ず多くのことが得られるので、特に若い人にはぜひ、経営指針の勉強に参加して欲しい、「早ければ早いほどいい！やってみればわかる！」と熱く語られたことが印象的でした。また、経営指針を成文化することで、社員にも示せるし、なんと言っても、自分を見つめる作業になり、それが自分にとって大きな成果だったと話されました。経営指針作りによって、折笠さんは自信を手に入れられたと思いました。同友会に入って変化したこと 同友会に入る前、下降してきている建設業界の中だけでこのままではいけないと思いつつも、その仲間同士だけで甘えている部分がありました。でも「同友会に入会して、異業種の社長さんに出会って自分はすごく変わったと思う。経営指針を学んで、社員と真剣に向き合うようになった。社員の成長を考えて行動するようになった。」そう笑顔で話す折笠さんは、いつも前向きで、難しいことにも自然体で取り組まれていて、人柄の良さが表れているような気がしました。(レポート/(有)遠藤電子 遠藤多恵子)会社概要(有)新建設技術設計所在地:〒963-0201 郡山市大槻町字中ノ平 82 番地 TEL:024-961-8060 FAX:024-961-8108 事業内容:測量・設計創業:1992年12月 資本金:300万円 社員数:3名